

(様式 1)

令和 2 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県総合運動公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市南中田

3 施設設置年度
平成 5 年度

4 設置目的
平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園

5 施設概要
敷地面積：46.0ha
主な施設
・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド[※]芝生舗装（106×70m）
観客席約25,000人収容可能
・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース
・屋内グラウンド：6,354㎡
・芝生スポーツ広場：12,630㎡
・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡
・クロスカントリーコース：2.1km

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
830,222	782,121	824,451	825,440	659,124

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H28	H29	H30	R1	R2
22,855	23,240	23,892	22,414	20,238

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H28	H29	H30	R1	R2
18,347	19,234	19,234	19,412	19,591

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は対R1年度比79.9% (166,316人減)、有料公園施設の料金収入は対R1年度比90.3% (2,176千円減)となった。
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響が大きく、緊急事態宣言に伴う施設閉鎖や各種イベント・大会等の中止・縮小、無観客試合などにより利用者数、料金収入ともに減少した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和2年度新たに、アスリート向けのメンタルトレーニング講座を開催した。
・利用者のニーズに合わせて、冬季(12月～2月)の屋内グラウンドを無休とした。
・各競技団体の要望に応じ、休園日の開園や開園時間の延長などに対応した。
・夜間利用者の安全性を高めるため、令和2年度にクロスカントリーコースにLED照明を増設した。
・令和元年度には陸上競技場のFree Wi-Fiエリアを地下エントランスロビーや更衣室まで拡大した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・富山県公式ウォーキングアプリ「元気とやまかがやきウォーク」のミッション機能を活用したイベントを令和元年度から継続して開催した。
・芝生スポーツ広場及びファミリー広場の芝のオーバーシードを行い、冬季も利用できるよう取り組んだ。
・クロスカントリーコース及び陸上競技場のコースの除雪を行ったほか、屋内グラウンドに落雪安全柵を設置し、冬場の利用促進を図った。
・平成29年度に導入した有料公園施設の電子予約システムを、令和元年度にスマートフォン対応にリニューアルした。
・平日割引や回数券、更衣室・シャワーのみの利用料金などを設定し、利用促進を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	①利用者アンケート (R2. 10)、②講座・教室参加者アンケート (R2. 11、R3. 2)、③健康に関わる教室に向けた周辺5地区住民アンケート (R2. 11～R3. 1)
回答者数	①277人、②74人、③52世帯
結果	①・施設設備の満足度：満足(良い) 54.2%、普通41.8% ・公園の魅力：広い213人、きれい199人、 緑が多い156人、安全137人 など ②概ね好評価で、また参加したいとの回答が多かった。
結果を踏まえた改善事項	・どんなイベントを行っているのかわかりやすくしてほしいとの意見に応じ、HPやサイネージシステムとあわせて、地元町内会の回覧板により情報提供し周知を図った。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・近隣地区自治会代表等による総合運動公園利用促進協議会を3回開催した。
・大会等競技団体との会議を開催し、意見を聴取した。
・意見箱を2か所設置している。

③主な苦情と対応

・犬のふんの放置や立入禁止場所(芝生広場)への立入りの注意喚起を徹底してほしい。
⇒禁止看板は設置済みであり、巡回時には十分注意してチェックを行う。

(5)個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

・「明治安田生命Jリーグウォーキングin富山県総合運動公園」を共催した。
・近隣地区自治会、カターレ富山等による利用促進協議会を開催し、公園で開催されるスポーツイベント時の交通誘導等について対応策を検討した。
・利用者や地元自治会のボランティアにより、清掃、防犯パトロールなどを実施した。

(7)施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・「新型コロナウイルス」による予約客のキャンセルがあったものの、大型の試合・大会の誘致や利用の少ない冬期間のイベント等を行っており、利用促進と利便性の向上に努めていることが認められる。
・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。